

磐城時報

編輯部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四
印刷部 石城郡平町 電話四十四

町議 荒川夫妻 信用毀損で訴えらる

齋藤某にからまる貸家問題

平町字七軒町平町會議員荒川恒で荒川夫妻は、齋藤に對し家賃次郎(五)並に同人妻トリ(五)踏み倒し商賈人と罵つた上、告一)の兩名は信用毀損自由妨害訴するを脅迫するたため平町に對し脅迫として平町字七軒町齋藤某に對し出でたものである。

論議を提出されたので一般の注目を惹いてゐる事件の内容を聞くと、齋藤拾七は昭和三年十二月平町久保町當時に住んでゐる際荒川夫妻は齋藤に對し「平町七軒町二十九番地に俺の貸家が、半歳も空家になつてゐる。家賃などはどうでも好いが、入つてだけ貰ひ度い、近所の人々にも近いうちに入る人があからさう言つておいたから是非移轉して貰ひ度いと頼まれたが、齋藤は當時失職してゐる際で収入もなく移轉する氣がなかつたけれども、親切さうなすゝめであるため十二月三十一日移轉した、その後同町佐川鶴松、羽田金之助等から荒川の妻トクは肺患者が居たため借りる人がなかつた、家も漸やく借人がついでよかつた」と言つてゐる事を齋藤に告げたので齋藤は驚いたが、家賃は都合の良い時で、といふ親切を信用し大借金を行つて引續き住んでゐた處、その後家賃が七ヶ月分程たまつたの

縣社祭典に 假裝行列

平町鎮座縣社子齋倉神社の祭典

は今年から十七日、十八日の兩日執行する事に變更されたが、假裝行列は祭典に與る添えるた假裝行列を行ふ事となり目下準備中、時恰かも花見時とし盛大を豫想されてゐるが、十八日午後零時半縣社子齋倉神社集會後一時松ヶ岡公園忠魂碑前に於て審査を行ひ一等金銀時計二等賞時計以下賞品を授與する等、審査員は左の如し。

農事講習會

石城郡神谷村縣立農事講習會分場では十三日午前十時から午後三時迄分場講堂に於て農事講習會を催はす

講師は菊池技手で肥料の合理的配合についての講演がある

縣下殉職消防手の 慰靈祭を執行

縣下消防大會當日 平警察署に於て

福島縣下消防大會は四月十五日平町で開催さるゝ事既報の如くであるが、之に先立ち當日午前八時半から平警察署に於て縣下殉職消防手の慰靈祭を執行する事である、縣下の殉職組員左の如くである。

- ▲福島市清原町 福島組野口庄太郎(慶應二年生、明治二十三年殉職)
- ▲田村郡三春組 渡邊寅之助(明治十一年生、明治三十九年同)
- ▲石川郡石川組 溝井彦太郎(明治十三年生、同三十九年同)
- ▲信夫郡 笹谷組 遊佐與市(明治元年生、明治四十年同)

家計が不如意で 酌婦となつた人妻 自殺を決意して家出

役人を減ぜよ

双葉縣大久村中ノ内高藏妻今田セ(四三)は財界不況のため家計が思はずなないので夫と相談の結果前借二百五十圓で平町立町熊谷なつ一方に酌婦として住み込んだが、夜毎に變る假裝の枕に相憎をつかして悲觀し、自殺する旨の遺書を認めて行衛不明となつたので行衛捜索中。

電線泥捕る

石城郡湯本町上野鈴木周太郎(三七)

は三月二十五日頃から數回に亘り同町淺貝地内東部電力會社倉庫内から電線を窃取した外數回窃盗を働いた事發覺平署に捕はれた。

妻が家出

相馬郡小高町字南小高片岡讓妻安部ミサホ(三五)

は去る五日小高驛發列車で平町までの切符を買ひ求め行衛不明となつたので捜索中。

安村氏講演

平町材木町平パレット教會では八日、九日の兩日午後七時半から安村師を招き講演會を催はす。

目下智識階級の失業者が多いので當路者が頭をなやまして居る所へ、有給生活者の人々が益々減つて居る人が増加しその上全國各種の學校卒業生が社會に頭を出すので就職の途に困つて居る場合、役人を段々減少せよとは甚だ受取れない注文であるが、行詰まつた我國現在の經濟界には町村などに採用せらるゝ技手又は農業指導教師の如きお役人月給取りは必要でない。

いづれも役場の椅子に寄つて先づ新聞を讀むこと、農産物品評會のお世話役、農事講習會の周旋係とか、種苗の注文に關することを調べるとか、何の統計表、何の調査表を製するとかといふので、實際勤儉を取つて終日働く人の爲にはこれぞといふ補助又指導にもならない。

例へば村に技術員が無くともその村の有爲な青年の既に知つて居る、篤農家などの實際にかけてそれ以上實驗があるのである。

私がある地方を旅行した時のことである、四月の半頃で桑園を新設するといふことで農業技手が村役場へ出張せられた、そして村農會の書記も同行して一定の桑園地に臨まれた、其處には早くから十九才と二十四五才の婦人が出迎ひて居た。

此の二人の婦人は村役場から雇はれた桑園の人手でせう、血氣の男子が柔弱な二人の婦人に命じて桑苗をうる指圖をなすのである、時々ボケツ

トから寒震を出して煙を吹きながら右往左往技手と書記と話しながら立つて居る、其處にはまた年若な女子が汗を流して鎌を握り上げ働いて居る

その對照を見た私は大いに不平で有つた、何故なれば技手でも書記でも何うして跣足となつて自ら鎌を取つて模範的に桑苗を植えて見せぬのである、唯口で講義をして居るのみ、そして時々洋服に土が付いたのを拂ひ落すもの様子と言つたらとても見るもいやな位だ、二人の夫婦の働く所を二人の役人が唯見て居る、それも二人の女子が働く所を二人の男子が立つて見て居る、何といふ醜態ではあるまいか

本社主催第二回 縣下中等學校野球大會

六月中に決行致します
詳細は追て發表
磐城時報社

手金をとつて 品物を渡さぬ高利貸

五十錢の訴訟

石城郡下小川村大字上平字前田原茂野乙八は去る三月三十一日上小川村高利貸杉田助太郎(三六)から同村大字戸渡草野寅吉所有の牛馬三頭を二十五圓で買受ける契約をなし、手金として十圓をおいて来たが數日を経た後金十五圓を持って馬を受取りに行つた處、そんな事は知らぬと受附ぬので茂野は七日平署に訴へ物語る一つであるが苦笑してゐる。

珍談

平區裁判所の書記吉田當代さん... 復興債券がこの程一千五百圓に...

當十一日 特別公開... 今週の映畫を見ずして有聲座を語るなかれ...

繪日傘... 祇園 舞の袖 小唄 狸大轟...

鼠小僧... 時劇 富岡春朝 十卷...

恨... 運命 松浦榮枝 演 東光 大原 錦陵...

有聲座... 帝キネ 獨唱聲樂家佐藤菊子嬢特別出演...

時報文藝

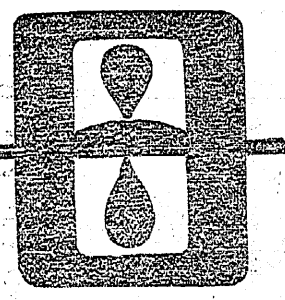
夕やけ 幸瀬生... 赤いお顔のお日様は 西のお山に腰かけて...

信州善光寺團體參拜大募集

一、本年は 三國一の靈場、善光寺阿彌陀如來七年目の御開帳に相當し、如來結縁の爲め廣く參拜講員を募ります...

賜御臺覽

文部省推選・東京市兒童名映畫の一 童話 あした天氣にナール...



見よ... 本邦唯一、母性愛最高潮映畫 絶對見るべき映畫として...

生花商 友... 平町字一丁目(電話三三六番) 八田與市

丹後澤舟遊會 丹後澤鯉養育所

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

安齋外科醫院 元赤心堂病院跡 電話四七五

春帽!!

皆様の モダンな型 御氣に召す スマートな色合 中折、鳥打、子供帽子...

外科一般

醫學博士 藤本順

産婦人科

長木村寅次郎 木村病院 病室完備 入院隨意

故一二送葬の際には遠路の處 態々御會葬被成下且つ御鄭 重なる香奠を賜はり御厚志...

息昌儀病氣療養中の處藥石効なく本日午前五時死亡致候に付き 此段御通知に代へ廣告候也...

生花教授

家元龍生派池坊 生花、盛花、投入、自然 營業では御座りませぬ趣味で御相手致し度うございます...

萬病の靈藥 故長井博士の推獎せる 別府 鑛泉 定價一圓也 地方一手販賣 今平町 山野邊藥局